

**リニア建設費捻出のためのあくなきコスト削減！！****これが『安全最優先の行動』か？！**

大阪交番検査車両所では、2月21日の午前交検終了後昼休みまでの10分間で「3月ダイヤ改正以降の交検作業変更点の説明会」が行われました。約8分間の社員を説明員にした早口の説明で質問する時間も満足になく、社員から「交検作業のない非稼働日にじっくり説明してほしい」と声が挙がったものの管理者からは「説明会については今日で終わりです」といった対応でした。内容については何年も前から社員が要望してきた台車廻りの点検の順番の流れに沿った形に改めた他「ACMブラシ点検の廃止」など、いくつかの検査が「省略」されました。昨年3月末に「交番検査周期延伸・新交検」が実施されてからこれまで「1本140分」で交番検査を施工してきて作業時分の足りなさがたびたび露呈していましたが、今回の「変更」は「作業時分の平準化」を狙った内容のようです。

この間特にA交検（午前）の時間がオーバーすることが多く、JRの作業はなんとか時間内に終わってもSEK作業者は11:00からの昼休みまでに作業が終了せず「昼の休憩時間変更や超勤扱い」で対応し、そのあおりでP交（午後1本目）のJR作業の開始も5～10分待機して遅れてスタートするということが多くありました。聞くところによると3月ダイヤ改からは「苦肉の策」でSEKの出勤時間と昼休憩の時間を5分遅くするそうです。ちなみに「SEK」にも、もう何年も前に労働組合が結成されていますが何か「議論」になっているのでしょうか。非常に関心のあるところですよ。

我が社は「リニア建設費捻出」のためにとことん「コスト削減」を追求しています。1月25日には「のぞみ31号（K10編成）」で「走行中に破損したギヤケース等の部品を167gも線路上に落とす事故」が発生しています。この3月ダイヤ改からは「SEKに業務委託している車軸探傷も3万キロ毎から6万キロ毎に周期延伸する」と聞いています。

会社は、発足30年を迎えるこの4月から新しい「経営理念」と「行動指針」を策定するとしていますが、あくなき「コスト削減」は「指針」のひとつ目にある『安全最優先の行動』に相反するのではないのでしょうか。何か「会社の言うことに一切疑問を持つな」というように「指針」の5つ目にある『規律ある一体感』ばかりが目指されているように感じるのは私たちだけでしょうか？！